



TITLE:

本年度中に全学蔵書が収容力を突破 - “書庫収容状況”特集号 -

AUTHOR(S):

CITATION:

本年度中に全学蔵書が収容力を突破 - “書庫収容状況”特集号 -. 静脩
1971, 7(6): 1-2

ISSUE DATE:

1971-03

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/36631>

RIGHT:



本年度中に全学蔵書が収容力を突破

— “書庫収容状況” 特集号 —

最近行なわれた文部省情報図書館課の「昭和45年度大学図書館実態調査」（昭和45年3月末現在）によると、全学蔵書数が2,916,941冊にたっし、たいする書庫の収容可能数*は2,934,924冊であり、この結果その余裕冊数は17,983冊となり、本年度中に書庫から図書があふれ出す事態となった。

この由々しい内容をもう少しこまかく部局単位にみてみよう。（以下次頁の『京都大学の書庫収容状況一覧』を参照）部局のそれぞれの余裕冊数を、かりに昭和44年度の年間増加冊数**で除してみると、列举した25部局のうち、10年以上の余裕をもっているのはわずか6部局だけであり、現在すでにマイナスになっている10部局に加

えて大半の部局では、10年以内に図書が書庫に収納できぬという事態が起ることになる。

書庫の狭あいは、これまで多くの図書館員をもっとも苦しめてきたものの1つであるが、これは少数者による図書占有、不明図書発生の原因などともなり、結局利用者への大きなしわ寄せとなっている。

したがってこれらの部局では、緊急にその打開策がたてられることが必要であるが、附属図書館の推計によると、全学蔵書数は現在の300万が、18年後の昭和64年には550万を突破するという数字がでていので（「静修」1969年1月号参照）、書庫対策は各部局がバラバラにやるのではなく、全学的かつ長期的展望にたって行なわれることがのぞまれる。



* 同じ「実態調査」による全学書庫の延面積は13,570㎡であるが、この面積を文部省の“閉架書庫の必要面積—180冊当り1㎡”（国立学校建物の実態調査等に用いる必要面積一覧表）という基準で計算してみると、2,442,600冊の収容数となり、492,324冊も超過収容していることになる。すなわちこの収容可能数の数字自体が、面積的にいうと、ずいぶん無理をしている苦しい図書収納の実状を示しているわけである。

** この年間増加冊数は今後平均3.4%の増加率でのびてゆくと推定されている。昭和25年度—25,101冊。昭和45年度—101,556冊。

京都大学の書庫収容状況一覧

—昭和45年3月末現在— (単位 冊)

部 局 名	蔵書数①	収容可能数②	余裕数 (余裕率%) ③	44年度 増加数④	余裕 = ③ 年数 = ④	
図 書 館	436,819	463,394	26,575 (5.7)	6,919	3.8	(経理・施設 部をふくむ)
文 学 部	511,800	547,197	35,397 (6.5)	7,467	4.7	
教 育 学 部	44,331	35,100	- 9,231 (- 26.3)	3,035	なし	
法 学 部	349,413	350,000	587 (0.2)	10,259	0.1	
経 済 学 部	255,630	255,000	- 630 (- 0.2)	5,690	なし	
理 学 部	159,149	248,611	89,462 (36.0)	5,464	16.4	
医 学 部	120,296	174,000	53,704 (30.9)	2,632	20.4	
薬 学 部	13,593	24,200	10,607 (43.8)	675	15.7	
工 学 部	204,311	201,760	- 2,551 (- 1.3)	10,625	なし	
農 学 部	218,343	105,550	-112,793 (-106.9)	7,764	なし	(農場・演習 林をふくむ)
教 養 部	212,691	158,275	- 54,416 (- 34.4)	11,895	なし	
化 学 研 究 所	19,557	40,436	20,879 (51.6)	1,195	17.5	書庫なし 研究室に分置 書庫なし 研究室に分置
人文科学研究所	273,328	112,000	-161,328 (-144.0)	13,186	なし	
結 核 研 究 所	2,390	3,000	610 (20.3)	256	2.4	
工 学 研 究 所	6,061	8,500	2,439 (28.7)	507	4.8	
木 材 研 究 所	5,317	3,500	- 1,817 (- 51.9)	480	なし	
食糧科学研究所	5,407	0	- 5,407	1,236	なし	
防 災 研 究 所	8,513	0	- 8,513	969	なし	
ウ イ ル ス 研 究 所	1,584	10,800	9,216 (85.3)	570	16.2	
経 済 研 究 所	17,185	123,389	106,204 (86.1)	1,921	55.3	
基礎物理学研究所	14,437	24,362	9,925 (40.7)	1,132	8.8	書庫の スペースは 余裕あり
数理解析研究所	20,457	20,200	- 257 (- 1.3)	3,871	なし	
原子炉実験所	12,191	16,500	4,309 (26.1)	1,865	2.3	
霊長類研究所	488	1,800	1,312 (72.9)	339	3.9	
東南アジア研究 センター	3,516	6,650	3,134 (47.1)	1,522	2.1	
大型計算機センター	134	700	566 (80.9)	82	6.9	
計	2,916,941	2,934,924	17,983 (0.6)	101,556	0.2	

〔注〕 1. ①・④は「昭和44年度京都大学増加図書統計」による。

2. ② は「昭和45年度大学図書館実態調査票」による。書架棚板の長さ90cmに図書25冊を収容可能として計算。